

飯塚病院だより

2020.2
no.185

特集

「心不全緩和ケア」～幸せ寿命を延ばそう～



飯塚病院 ハートサポートチーム

当院の心不全ケア科について

社会の超高齢化に伴い心不全患者さんの年齢も年々上昇し、入退院を繰り返す患者さんが増えています。さらに心不全治療を妨げる社会的背景（高齢、認知症、老老介護など）も複雑化し、対応が迫られています。年齢や心情的に積極的な治療を希望されない患者さんも増えており、患者さん一人ひとり

の人生に対する価値観をしっかりと汲み取る必要性が増してきました。このように、心不全とひとくちに言っても多様な背景を持ち、治療中心の医療だけでは限界があります。そこで当院では、心不全をいろんな方面から考えるために心不全ケア科を設立しております。心不

全ケア科は、循環器内科の中でも慢性心不全の管理を主に行う診療科です。心不全患者さんの再入院予防への取り組みを行うとともに、名前のとおり「治療」という観点とは別に「ケア」を行うことを目的としています。

飯塚病院だより

no.185

2020年(令和2年)2月10日 編集・発行 飯塚病院広報課 印刷 マツオ印刷株式会社

01 医師往来

はじめまして！ 2019年12月～2020年1月に入職した医師です。



耳鼻咽喉科
いとう ともき
伊東 智樹
まごころ込めて診療
します。よろしくお願
いします。

おつかれさまでした！ 2019年12月～2020年1月に退職した医師です。

検査急変対応科 安達 普至
産婦人科 谷口 貴之
耳鼻咽喉科 川口 壽比古
小児科 森田 啓督

02 福岡県産業保健総合 支援センター出張相談 開始のお知らせ

今年より、がん患者さんの治療と仕事の両立に関する出張相談窓口が設置されました。専任の社会保険労務士がご相談に応じます。事前予約制になりますので、ご興味をお持ちの方は、以下までお問い合わせください。

実施日 毎月第2金曜日
13:30～16:30〈事前予約制〉
問い合わせ先 がん相談支援センター
TEL 0948-29-8925
(平日 8:30～16:30)

03 飯塚病院のイベント一覧

3月6日(金) 14:00～15:40	第40回 がんコミュ(^^) - がんと食事 ～知っておきたい食事の工夫～	がん患者さんとそのご家族が対象 無料 事前予約が必要
3月19日(木) 13:30～15:30	第54回 筑豊地域医療サポーター養成講座 - よくわかる! 肺がん - 検診のススメ	無料 どなたでも参加可能 初回のみ事前予約が必要
3月24日(火) 10:00～12:00	ふれあいサロン - 認知症について	無料 どなたでも参加可能

～詳細は、各イベントのチラシをご覧ください～

04 患者会 活動報告 乳がん患者会一さくら会

2019年11月24日(日)に第13回となる日帰り旅行を開催しました。

今回は初参加の2名を含む会員15名とお子さん1名、医師・看護師各1名が参加し、佐賀県を訪れました。ご自身の乳がん体験や近況などを報告しあい、患者さん同士の交流を深めることができました。



「心不全緩和ケア」 ～幸せ寿命を延ばそう～

みなさんは、「心不全緩和ケア」という言葉をご存知ですか？

今回の特集では、心不全患者さんの生活の質の維持・改善を目指すための当院 心不全ケア科の取り組みについてご紹介します。

心不全とは

心不全とは、「心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気」です（2017年日本循環器学会発表）。

心不全は良くなったり悪くなったりを繰り返しながら進行し、最終的に死に至る病です。全ての心不全患者さんと、そのご家族が心不全緩和ケアの対象となります。

心不全の治療には、点滴等による急性期の治療に続き、薬物や心臓カテーテル、手術など心臓病の

心不全の原因となる具体的な心臓病

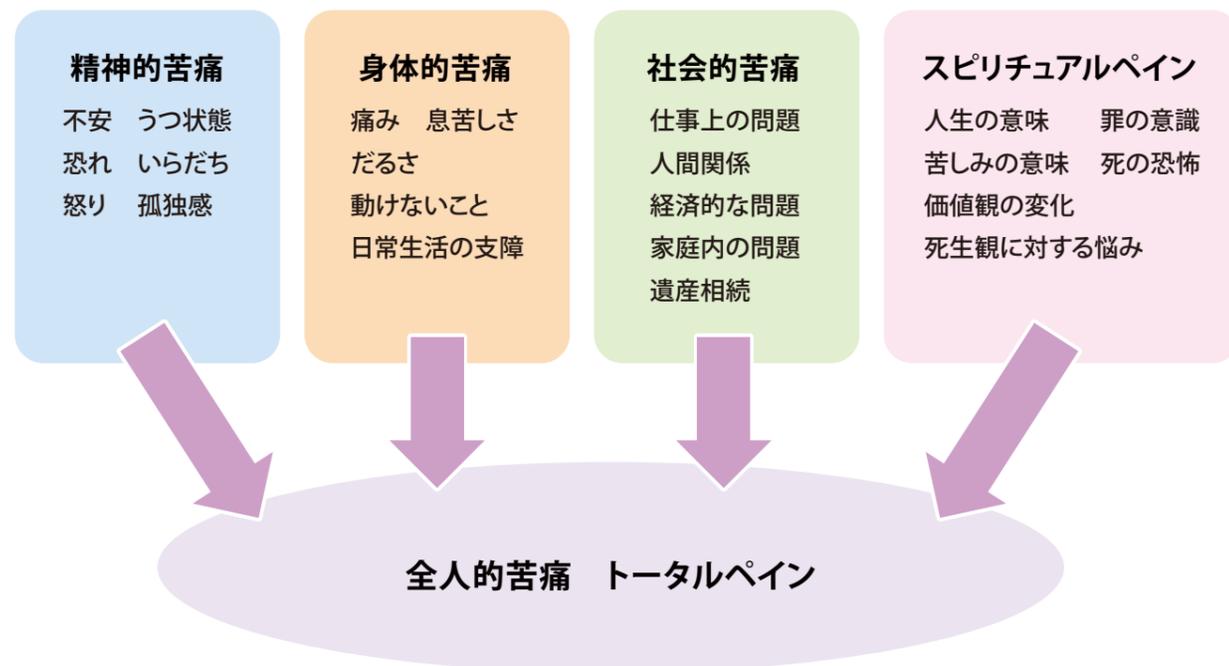
- 虚血性心疾患：狭心症や心筋梗塞
- 心筋症：拡張型心筋症や肥大型心筋症
- 高血圧性心臓病
- 心臓弁膜症
- その他、心臓の機能を損なう疾患 など



治療がなされ、多くの患者さんを救っています。

しかし、心不全は進行すると下図のように呼吸困難や倦怠感、むくみ以外にも、疼痛や不安、抑うつ

などさまざまな症状を伴い、生活の質＝QOL (Quality of Life) を損ないます。



アドバンス・ケア・プランニング

近年これらの心不全に伴う苦痛にも介入する必要性が叫ばれてきました。そこで、当院では連携医療・緩和ケア科と共同で心不全治療に緩和ケアの考えを導入しました。

緩和ケア＝治療停止ではありません。心不全治療は継続しながら全人的苦痛へ介入し、生活の質の維持や改善するための、もう一つの「治療」です。緩和ケアにおいて重要だとされるのは「もしもの時にどう過ごしたいか」について考えること、つまり、「アドバンス・ケア・プランニング」です。

厚生労働省では、「人生会議」と名付けています。今後悪くなった時に、どのような治療やケアを受けたいか、何を大切にしたいか、意識がなくなった場合、誰に今後の治療・ケアの方針決定を委ねたいかなどを、患者さんがご家族や、医療・介護の従事者などと前もって相談しておくことであり、ご本人とご家族の生活の質を高めると言

われています。

そういった「全人的苦痛」や「アドバンス・ケア・プランニング」に取り組むべく、入院中の心不全患者さんでも、命の危険のある方やさまざまな症状で困っている患者さんに、面談や回診を通じて緩和ケアの介入を行っています。

メンバーは、循環器内科、連携医療・緩和ケア科の医師に加えて、慢性心不全看護 認定看護師や病棟看護師など、多職種から成るハートサポートチームです。心不全の身体的苦痛のみでなく、精神的苦痛や社会的苦痛、スピリチュアルペイン（病気によって自分らしく生きられなくなったことに対する辛さ）など、患者さんのさまざまな苦痛を拾い上げ、患者さんが幸福を感じる時間、「幸せ寿命」を延ばせるような活動を目指しています。まだ院内のみでの活動ですが、今後外来患者さんへも緩和の輪を広げていければと考えています。

「筑豊心臓リハビリテーション連携協議会」の取り組み

「筑豊心臓リハビリテーション連携協議会」は、心不全患者さんの再入院を減らし、長期の予後をどのようにして改善するかといった課題を解決するため、また筑豊地域の心臓リハビリテーションの質の向上を図るため、2019年に活動を始めました。飯塚病院、児嶋病院、福岡県済生会飯塚嘉穂病院の3医療機関からなる協議会です。

定期的に会議・研修会を開催し、病院間・専門職間の連携強化を図っています。

当院リハビリテーション部の西村天利 理学療法士が代表を務め、循環器内科の古川正一郎 医師がアドバイザーとして携わっています。



筑豊心臓リハビリテーション連携協議会メンバーのみなさん

飯塚病院をはじめ、心不全緩和ケアに取り組むチームが多くの病院で活動を始めています。ご興味のある方は、医師や看護師にお気軽にご相談ください。

ハートサポートチーム スタッフと専門医資格 のご紹介



心不全ケア科部長
今村 義浩

- 日本循環器学会循環器専門医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本内科学会認定内科医
- 日本内科学会指導医
- 専門分野：
循環器内科一般
心臓核医学



連携医療・緩和ケア科
大森 崇史

- 日本循環器学会循環器専門医
- 日本内科学会総合内科専門医
- 日本内科学会認定内科医



看護師
下見 美智子

- 慢性心不全看護 認定看護師

当院の心不全ケア科の特徴や診療実績、外来担当スケジュールに関しては、ホームページで詳しくご紹介しています。ぜひご覧ください。

